

じとぜんひろば

No.104 2021年(令和3年)11月1日

地御前地区自治会



地御前郵便局前の国道2号線の様子 自動車が波を立てて走っている(画像①) 吉田麻理子氏撮影

7月8日
豪雨による
冠水



金剛寺西地区の冠水模様(画像②) 木戸博美氏撮影

7月8日、1時間に70ミリという想定を超える豪雨によりサーパスマンション付近から地御前郵便局付近までが冠水し、一時国道2号線が通行止めとなった。(画像①)

また、金剛寺西・要町地区の市道冠水でも床下浸水や自動車の立ち往生などの被害が出た。(画像②)

また、地御前北地区との連絡路(第1から第3トンネル)も冠水し通行不能となった。(画像③)

この原因は流れたゴミで道路集水木の排水が遮断、雨水管排水量のオーバー、排水ポンプの冷却水トラブルなどが考えられている。

国道2号線の冠水・通行



第3トンネル 車が水没している(画像③) 中村恵佳氏撮影

止めは扇ポンプ場が整備された平成元年以降初めての事態となった。

昨今では、毎年必ず日本の各地で豪雨による災害が起こっているが、災害が比較的少なかった地御前でもこのような事態が起き、これを教訓として豪雨による備えを早急に検討し実施しなければならない。

特に国道2号線には緊急指定病院のJ A 広島病院が面しており道路冠水による通行止めは許されない。ハザードマップを見てみると、冠水した箇所と致している。改めて自宅付近がハザードマップではどの様になっているか、是非、確認して欲しい。



サーパス防災訓練 土嚢止水堰作り訓練

8月23日サーパス町内会では防災士の坂本氏、勝谷氏、中山氏の指導により、土嚢作りの実地指導を受けました。土嚢紐の結び方、止水堰の積み方など勉強、60袋分を所定の場所に積み上げました。

7月には地御前各地で大雨による冠水が発生し、被害を被ったばかりであり、町内会から参加した10名の方々も訓練とはいえ真剣に取り組む姿があり、貴重な体験となりました。

ハッピーオレンジ隊 ダンスを披露



ハッピーオレンジ隊ダンスを披露

去る7月4日「おもてなしホテル宮島」の七夕イベントで「Y M C A」と「パプリカ」の2曲を披露し、イキイキとした笑顔を見せてくれた。

「おもてなしホテル宮島」では今回のイベントのように、開業当時より地域とのつながりを重視し、いろいろな招待イベントが開かれている。また、現在は一階のファシリテイススペースを地域の人々が利用できるようにしている。また、災害時の救援活動協定を地元新港町内会と結んでいる友好的な施設である。

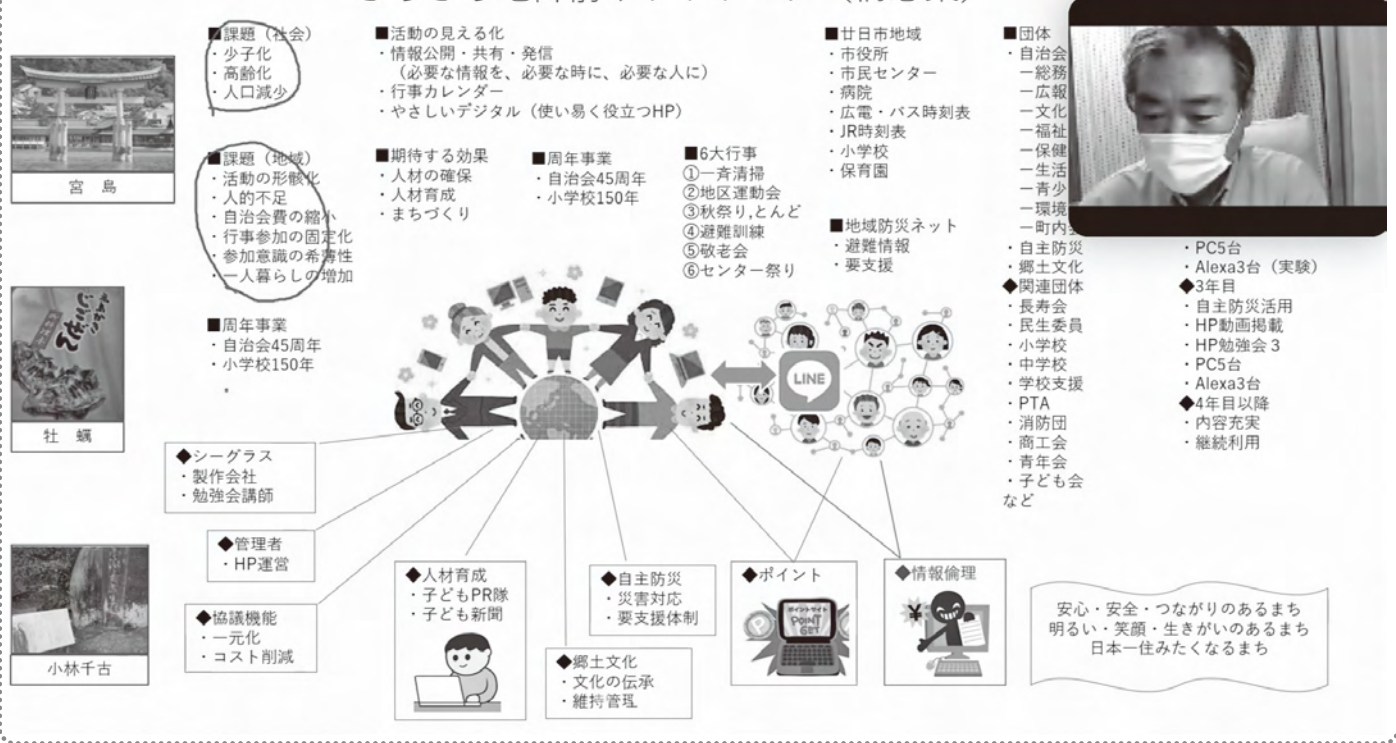
●メンバーの感想

- 最初はドキドキしたけれど、途中から面白くなってきて楽しかったです。
- 友達が、教室で一人で踊っている時と違って、もっとうまく見えました。
- たくさんの人が見に来てくれて嬉しかったです。
- 保護者より
- 発表の場を与えてもらってよかったです。
- 楽しんで練習しているのでも、本番も笑顔が出るようになれば、いいですね。緊張していましたがね。
- ホステルの見学ができて楽しんでいます。色々なお部屋もあり、遊具もありで、思ったより広く感じました。

自治会Web 活用プラン

地御前地区自治会では兼ねてより懸案だったインターネットの活用に踏み出すこととなりました。情報の共有・発信、会議や活動にWebやSNS・ZOOMなど活用し、より幅広い世代間の交流を図るためにホームページ作成のプロジェクトチームを結成し、来年度からの実施に向け準備中です。

きらきら地御前ネットワーク（構想案）



編集後記

▼オリンピック初出場の河田悠希選手はアーチエリート団体戦で見事に銅メダルを獲得。続く病災・天災の重苦しい空気を吹き飛ばしてくれた。日の当たる大舞台に踊り出るまでも、大変な努力と苦労があったに違いない。心から讃えたい。

J・K

▼新型コロナウイルス収束の兆し、しかし、油断は許せない。ワクチン接種は進んでいるが、若者の中には接種を躊躇している人も居るという。

ワクチン接種による反作用と、しない場合の罹患者の苦しみ、後遺症、他人に対する迷惑等を考えると、ワクチン接種を拒む選択肢は無いと思う。

▼岸田文雄内閣の誕生、内外共に多難な折の船出であるが、初志を貫きこの国を正しく導いて貰いたいと思う。フレイフレイ岸田

Y・Y

【発行】
地御前市民センター内
地御前地区自治会 広報事業部